

令和7年度 広見中学校 前期 学校評価

基本方針	本校教育の歴史と伝統を継承し、地域と共に創意・活力ある学校づくりに努め、夢や目標を持ち、ふるさと「鬼北」に貢献することである。心豊かでたくましく生きる生徒を育てる。		
学校教育目標	郷土に誇りを持ち、たくましく生き抜く生徒の育成		校 訓 若さあれ 力あれ 友情あれ
目指す生徒像	若さあふれる生徒 主体的に学ぶ生徒 心の美しい生徒	目指す教師像 元気で若々しい教師 指導力のある教師 仲間と支え合う教師	目指す学校像 元氣な学校 感じのよい学校「ゲンカンが美しい学校」 美しい学校
本年度の重点	1 生き方に学ぶ「地域コミュニケーション科」の推進 2 確かな学力を育てる教育の推進 3 生徒の健全育成 4 道徳教育の推進		

評価の方法…全項目(太枠内)について、下の4段階で評価する。ただし、自分が関わっていない項目や分からない(評価できない)項目は、\を記入する。
評価の観点の良い方から、4-3-2-1の4段階評価で記入する。

4 そう思う
3 どちらかといえばそう思う
2 どちらかといえばそう思わない
1 そう思わない

	評価指標	評価の観点	評価	前期／反省・◆提言										平均
				対象	時期	4	3	2	1	基準				
1	地域コミュニケーション力の推進	1 地域コミュニケーション力の活動は楽しく実施している。	A	◇地域の方との交流を通して、地域の様々な職種の方の思いに触れながら、鬼北町に誇りを抱くことや将来への希望や課題を語ることができた。鬼北町青年団との対話を通して、自分の誇りや地域を誇ることをとらえ、多様な人々の誇りが共存することに気づくことができた。その結果、ほとんどの生徒が意欲的に活動に取り組みている。	前期	時期	4	3	2	1	基準			
		2 鬼北町のよさを誇りに思い、鬼北町を愛する生徒の育成に努めている。	A	◇時期の取組を基本にして活動することでも大切であるが、新しい取組も加えていくことが考えられる。	後期	時期	70	26	3	1	96		96.0%	
					前期	時期	33	67	0	0	100			100.0%
			後期	78	22	0	0	100			100.0%			
考察・改善		【学校運営協議会委員より】 ・地域の方と協力して、地域の方の協力的な活動がすすんでいる。鬼北町に誇りを抱くことや将来への希望や課題を語ることができた。鬼北町青年団との対話を通して、自分の誇りや地域を誇ることをとらえ、多様な人々の誇りが共存することに気づくことができた。その結果、ほとんどの生徒が意欲的に活動に取り組みている。			前期	時期								
		・鬼北町のよさを誇りに思い、鬼北町を愛する生徒の育成に努めている。			後期	時期								
重点	評価指標	評価の観点	前期	後期	前期／反省・◆提言	対象	時期	4	3	2	1	基準	平均	
2	主体的に学ぶ授業づくり	3 生徒が「わかった」「できた」と実感でき、主体的に学ぶ授業を工夫している。	B	◇90%以上の生徒が、授業内容を理解していると答えているが、保護者の割合は70%以下と、親子でかなりの認識のずれがある。	前期	時期	34	58	6	2	92		86.9%	
		2 授業の内容が理解できている。	B	◆学校としては、精選して課題を出すことで、家庭学習の時間を確保し、それを習慣化できるように促している。また、1日1ページの自主学習を継続して行っている。	後期	時期	18	50	26	5	89			
		1 お子さんは、授業の内容が理解できている。		◇90%以上の生徒が、家庭学習が身についていると答えているが、保護者の割合は75%と、親子でかなりの認識のずれがある。	前期	時期	10	80	10	0	90			
		4 生徒は宿題や自主学習がきちんとできている。	B	◆学校としては、精選して課題を出すことで、家庭学習の時間を確保し、それを習慣化できるように促している。また、1日1ページの自主学習を継続して行っている。	後期	時期	54	40	5	1	94		86.3%	
3	基礎・基本の定着と学習習慣の確立	3 宿題や自主学習など家庭学習がきちんとできている。		◇80%以上の保護者が、考える力や表現力が育っていると答えている。生徒自身は、自分の考えを表現できたと答えた割合が75%と、やや消極的である。	前期	時期	30	50	0	0	100			
		2 お子さんは、宿題や自主学習など家庭学習がきちんとできている。	B	◆学校としては、精選して課題を出すことで、家庭学習の時間を確保し、それを習慣化できるように促している。また、1日1ページの自主学習を継続して行っている。	後期	時期	35	40	19	6	75		85.7%	
4	コミュニケーション力を伸ばす教育活動	5 コミュニケーション力を伸ばすために、書く話すことや表現することを取り入れた授業をしている。		◇学校としては、授業でタブレット等を活用し、思考ツール等自分の意見をまとめ、表現できるようにサポートする中で、自分の意見を伝えたりする場面を設定している。その作業を繰り返すことで、表現力の育成を図っている。	前期	時期	33	42	24	1	100			
		4 みんなの前で、自分の考えを発表できる。		◇80%以上の保護者が、考える力や表現力が育っていると答えている。生徒自身は、自分の考えを表現できたと答えた割合が75%と、やや消極的である。	後期	時期	35	40	19	6	75		85.7%	
		3 お子さんは、考える力や表現力が育ってきている。		◆学校としては、精選して課題を出すことで、家庭学習の時間を確保し、それを習慣化できるように促している。また、1日1ページの自主学習を継続して行っている。	前期	時期	26	56	17	1	82			
		6 ICTを活用して特別最適な学習を実践している。	A	◇100%の先生方が、ICTを積極的に活用している。◆今後も継続して実施していく。	後期	時期	40	60	0	0	100		100.0%	
考察・改善		【学校運営協議会委員より】 ・2・3については教職員・生徒の高い肯定割合に対して保護者の肯定割合が低い。これまでも同様の傾向がみられたが、保護者の子供に対する期待の表れではあるかと思う。4については生徒の肯定割合が少し低めであるが自己評価力が高いためまだ未熟な小の思考力や自己評価の確立に力を入れていることが伺える。5については将来のキャリアデザインを明確にするため、今後明確の目標を定めていく必要がある。・学力向上に近道はないと考え、小中の連携や授業の充実等にも更に努めながら地道に取り組んでほしい。・日々と異なり、生徒と保護者の間で考えが異なるようにして主体的に学ぶよう促している。・学習は「学習」「復習」「検定」というサイクルで進め、自分自身の成長を自分で確認できるようにしてほしい。・学習の進捗が大きいと思う。そのため先生方は積極的に学習意欲を高める授業をしてほしい。感謝する。・先生方、生徒の学習意欲を高める授業を実施し、学習意欲を高める授業												